

笑顔に会える始業式 2 学期 始動です！！

「9月1日の始業式には、子どもたちが全員元気に登校し、笑顔にたくさん会えますように。保護者の皆様には見守りを、どうぞよろしくお願ひいたします。」学校だよりの6号に記載しましたが、今朝の始業式では、眠そうな顔や少し照れくさそうな顔もちらほら見られましたが、「ついに始まった！！」の意気込み・気持ちを感じます。みんな元気、それが何よりです。交通事故や水難事故、犯罪被害などの報告もなく日常のひとり一人の心がけや保護者・地域の皆様の見守りに感謝します。

42日間の長い休み中、勉強会に参加したり、クラブ活動や学年の取り組みに参加したり、積極的な姿を見ました。各町の盆踊りに参加し楽しむ姿も見られました。さあ、2学期の始まりです。2学期を制する者は、〇〇を制する。CM「・・・自分は自分でつくる。いいわけはしない。」人に言われてするのではなく、言われる前に行動あるのみ。皆さんの活躍を期待しています。

幼稚園 小学校との交流 夏休みだからこそできる

- 東葛城小学校の児童会代表の皆さんと生徒会執行部の交流・・・8/10(木)

「あいさつ」プロジェクト会議の後、ゲームでなごみ、旗づくりをしました。



- 山滝幼稚園・山直南幼稚園の園児さんと部活動生徒（美術・家庭科・バレー）との交流の一場面です。その他、サッカー・陸上・バスケット・科学部も園児さんと交流しています。



英語暗唱大会に出場しました・・・8/28（月）浪切ホール

(Kishiwada City Junior High School English Recitation Contest)

岸和田市の11中学校の各代表3名が、浪切ホールに集まりました。3分間のスピーチです、かなりの英文を暗記しなければなりません。そこに表現力をプラスし大勢の前に立つわけですから、緊張し頭が真っ白になってもおかしくはありません。

本校から出場した3名の当日の雄姿はとても立派でした。夏休み中の練習にも余念のない3人でした。この経験は今後将来への糧になることでしょう。お疲れさまでした。



校長室からこんにちは

2学期といえば芸術文化や運動等、いろいろなことに腰を据えて取組める期間です。まだまだ夏日は続きますが、目標を立てて楽しむ学期にしましょう。

8月19日から1泊で九州に行きました。今年は九州地区で全国中学校体育大会が開催され、行った先でも全国からの選手に出会いました。今回は「平和」について、鹿児島県の知覧特攻平和会館に行きました。2回目の訪問になりますが、今回は、命の尊さ、平和の大切に加え、家族の在り方が問われる現在、家族の絆について等、「つなぐ」をキーワードに学ぶものが大きかったです。



知覧特攻隊について

南九州市にある知覧。太平洋戦争末期に行われた特攻作戦で、多くの若者が片道分の燃料を積んだ戦闘機にただ一人乗り込み、知覧飛行場から飛び立ちました。飛び立った先は、敵艦に戦闘機ごと体当たりするのですから、「必死」かならず死が訪れるということです。若い隊員で17歳ですが、特攻隊員が出陣する前に残した遺書が数多く展示されていました。宛先は親姉弟だったり、妻や我が子、恋人などですが、特に母親にあてたもので、母親の涙が一番つらいから泣かないで笑顔でいてほしい、自分も笑顔で逝ってまいります・・・といった内容や、我が子にあてたものは、涙なしでは読むことができませんでした。1度目の訪問では時間が限られていましたが、今回はじっくり館内を回ることができました。「つなぐ」の意味ですが、遺書に書かれている内容は、感謝の気持ちと自分を鼓舞するものです。しかし根底には「大切な人を守る」使命感と「平和な日本国であってほしい」この切実な願いが込められています。何百通もの遺書は、初代の知覧特攻平和会館の館長に就任された方が、戦死された方の家を一軒一軒訪ね歩き、集めてこられたものだそうです。その方も実は特攻隊員の一人でしたが、出陣するもエンジントラブルなどで生還されたそうです。終戦後も、なぜ自分は死ななかったのかと責める毎日の中で、生かされた使命とした結果が資料提供につながりました。

「つなぐ」・・・今現在、平和な国に暮らす私たちの使命は、過去の歴史をただ涙して終わるのでは、あまりにも悲しすぎます。もっともっと生きることを大切にしたい。家族のためや社会のためにそして自分のために、平和であるためのできること、始めよう。

